

平成23年

3月号

(555号)



広報

かねやま



支えあいの町へ



町の未来を担う子どもたち（金山小と横田小の交流会）

2011年から10年間のまちづくりの方針を定めた第4次金山町振興計画がまとまりました。「支えあいの町 かねやま」を基本目標とした、計画の概要についてお知らせします。

まちづくりの考え方

町の現状を把握し、地域の課題を整理すると10年後に理想とする町の将来像が見えてきます。

新たに策定した第4次金山町振興計画では、次の5つをまちづくりの考え方として推進します。

- 過疎に対応した生活環境づくり
- 郷土を担う心豊かな人づくり
- 地域特性を活かした仕事づくり
- 広域的な連携による地域づくり
- 住民と町職員の意識改革

10年後の金山町

私たちが10年後の金山町を想像したとき、その姿は人それぞれではないでしょうか。

4村が合併して誕生した金山村。そして金山町へ。「町がなくなる」「人がいなくなる」という声が聞かれたこともありました。しかし、本当に町が無くなることはありませんでした。

これからは、「町がなくなる」「人がいなくなる」ことに危機感を持ち、ふるさとを守り続けるために全ての人が支えあいの心を持って、10年後のあるべき姿「支えあいの町 かねやま」を達成するために一緒に力を合わせていきましょう。

過疎に対応した 生活環境づくり

生活環境の整備を進める
ことが必要であり、限られ
た財源を有効に活用しなが
ら過疎に対応した生活環境
づくりを進めます。整備し
た機能を補完するため地域
住民の支えあいの意識を高
めることが、安心感が得ら
れる要素になるため、人と
人をつなぐ支えあいの精
神の醸成に取り組みます。

また、町の問題の解決に
向けて子どもから大人ま
で、相互に支えあいの心を
持ったまちづくりに取り組
みます。



重要な課題となる冬期間の除雪



元気に遊ぶ子どもたち

郷土を担う 心豊かな人づくり

幼児教育での情操教育、
小中学校での小規模校の
よさを活かして郷土を愛す
る心豊かな子どもたちの育
成と教育課程に基づいた基
礎、基本をしっかりと学ぶ
環境整備に努めます。

また、川口高等学校を地
域に欠かせない教育機関と
しての認識を深めるととも
に、社会教育の振興につい
ては、生涯一学習を展開し
ながら学びたい人が学ばな
いときに学ぶことができる
環境づくりに努めます。

地域特性を活かした 仕事づくり

地域に潜在する地域資源
を活用し、農林水産業を柱
とした第一次産業の基盤整
備をしながら、町内での加
工や販売、消費そして観光
などの分野へ広げ、支えあ
いの産業の育成に努めます。

また、若者の定住促進や、
田舎暮らし志向の高まりに
対応した新たな仕事づくり
を進めます。そして、既存
企業の本来の業務における
雇用維持ができるような対
策を検討し、新規分野への
参入などにも可能な限り支
援をします。



地域の資源の1つ奥会津金山赤カボチャ



奥会津振興センターが開いたワークショップ

広域的な連携による 地域づくり

日常生活における行動圏
は、マイカーの普及や国道
の改良整備が進んだことで
大きく広がりました。これ
までのように町内のみを考
えた施策の推進だけでは、
多様化する住民の要求に対
応することは難しくなっ
ています。

近隣市町村と組織する協
議会などと共同歩調をと
り、奥会津地域の産業育成
や人材発掘などの地域づく
りのための事業に積極的
に参画しながら、広域化す
る住民行動に対応します。

住民と町職員の 意識改革

私たちは、どんなことでも役場がやってくれると思
っていないでしょうか。こ
れまで町は、住民と町職員
の本来あるべき役割を明確
にしてきませんでした。

今後は、住民ができるこ
とは住民自らが、行政がや
るべきことは町職員がしつ
かりと取り組むことを明確
にし、職員地区担当制やま
ちづくり懇談会をとおして
情報の共有を図るとともに
に、住民と町職員の意識改
革と人づくりを進めます。



活発な意見交換が行われた昨年のまちづくり懇談会

楽しんだ雪まつり



多くの来場者でにぎわう会場

第33回会津かねやま雪まつりが2月20日、中川グラウンドを中心に開かれました。多くの来場者でにぎわいを見せたまつりの様子をお伝えします。

＊にぎわう会場

関係者による鏡開きで幕が開いた第33回会津かねやま雪まつり。町の特産品や、郷土料理などが所狭しと並んだ味じまん・売店には長蛇の列ができました。

ステージショーでは、鮮やかな手さばきで作られるバルーンアートやものまねショーに多くの歓声が上がりました。

ゲーム大会では、町にちなんだ「かねやまカルタ」やミニ雪像作りコンテストが行われ、子どもたちがカルタ取りや雪像作りを楽しんでいました。

また、会場内には金山中学校と川口高校の生徒が作成した雪像2体と巨大な滑り台が並び、来場者が雪像をカメラに収めたり、滑り台で遊んだりして、かねやまの冬を満喫していました。

私の言いたいこと発表会

金山町青少年健全育成町民会議が主催したもので、小学生から高校生15名の児童や生徒が、自分の体験や将来の夢などについて発表しました。

会場には、約100名が来場し、発表者の主張を熱心に聞いていました。

書き初め展

町内の小中学校の児童や生徒が書き上げた112点の力強い作品が展示されました。

老人作品展

町老人クラブ連合会が主催したもので、丁寧に作り上げられたほうきやざるなどが展示販売され、販売時には、長い行列ができました。

川口高校授業成果展示

川口高校で行われている奥会津風土体験プログラムの授業成果が発表されました。



老人作品展で最優秀作品賞を受賞した栗城百合子さん(玉梨)の布絵



カルタに飛びこむ子どもたち



かねやまの味に列を作る来場者



川口高校生徒の作品
ふくしま総文マスコットキャラクター「ぺしゅ。」



金山中学校の生徒が作成した
「雪うさぎ」



自らの思いを発表した児童と生徒



中丸隆さん(大志)は3体作成



渡部伝吉さん(水沼)の作品
「うさぎとかまくら」



横田孝則さん(横田)の作品
「うさぎ」



「ユキウサギ」は横田地域青少年
健全育成会が作成



「優しい巨人」は園田オスカくん
とジェフ・リードさん(西谷)の
作品

❁ 力作が登場

雪まつりの開催に合わせて町内に雪像が作られ、
まつりを盛り上げました。

引き継がれる伝統行事 百万遍で 無病息災を願う

板下地区では2月8日に、伝統行事のひとつ百万遍が行われました。これは災厄や病気を除けるための念仏供養で、以前は地区の子どもが主体でしたが、子どもの減少により現在では区長をはじめとする地区の有志が行っています。

今年のかねやまホームでも行われ、ホームの利用者と一緒に「なんまいだ、なんまいだ」と繰り返しながら大数珠を回し無病息災を願いました。



かねやまホームでの百万遍



サル被害の対策を学ぶ参加者（滝沢集会所）

えさ場を無くす取り組みが必要 サル被害の予防法を学ぶ

サルによる被害を予防するための座談会が2月21日、大塩集会所と滝沢集会所で開かれ、2会場で合わせて約50名が参加しました。両地区では昨年12月頃からニホンザルの群れが出没しています。

参加者は、県の担当者からニホンザルの特徴や他の地域での被害を学び、「花火を使った追い払いや見回りなど地域で団結することが大切です」との説明をうなづきながら聞いていました。



農家民宿について学ぶ参加者

活動の実際を聞き 農家民宿について学ぶ

「おくあいづ農家民宿開設セミナー」は2月24日、開発センターで開かれ町内外から農家民宿に関心のある約50名が参加しました。

これは、会津地方振興局と奥会津振興センターが主催したものです。

参加者は、県の担当者から農家民宿の特徴や開業までの流れなどの説明を受けた後に、実際に喜多方市や会津坂下町で農家民宿を開いている方の話を聞きました。その後、意見交換が行われ、講師を交え農家民宿について活発な意見が出されました。

積雪が3mを超え豪雪対策本部を設置 除雪ボランティアも町内で活動

町では、昨年12月25・26日の降雪が原因と考えられる停電が発生するなど、豪雪に見舞われ豪雪対策本部を設置しました。2月1日には、田沢地区で積雪量が302cmとなり、この冬の最高積雪量を記録しています。

そんな中、1月22・23日に連合埼玉、1月29日に両沼地区連合会、2月13日にいわき明星大学の学生と福島民報社の社員が除雪ボランティアとして訪れ除雪作業をしました。

また、佐藤雄平福島県知事が2月12日、玉梨地区に豪雪の状況視察に訪れました。



除雪作業に励む連合埼玉の組合員



活発な意見交換をする参加者

地域のために何ができるか 沼沢・太郎布でワークショップ開催

沼沢・太郎布地区「地域づくりワークショップ」が2月26日、沼沢集会所で開催され約20名が参加しました。

このワークショップは、全3回にわたり開催したもので、1回目は地域資源や課題を地図に書き込み、2回目はそれをもとに地域づくりのアイデアを出し合い、3回目となった今回は計画案の策定を行いました。穏やかな雰囲気でのワークショップは、時に参加者による激しい議論が展開される場面もあり、地域に対する真剣な意見交換が行われました。

専門家の意見を聞き 稲作の栽培技術を高める

稲作の栽培講習会が2月25日、横田公民館で開かれました。これは、肥料や農薬などの経費が増加する中での稲作の栽培技術の向上を目的に開いたもので、稲作農家など約20名が参加しました。

参加者は、JA全農福島農業技術センターの小林弥一さんから、昨年の米に1等米が少なかった原因を聞いたり、農学博士の菅家文左衛門さん（滝沢出身）から食糧自給率向上の意義などの説明を聞き、この春からの稲作の栽培について学びました。



稲作の栽培技術について学ぶ参加者



1年間の活動報告をする境さん(右)

1年間の感謝を込めて 緑のふるさと協力隊が活動を報告

緑のふるさと協力隊として1年間活動してきた境もえ子さんの活動報告会が3月3日、開発センターで開かれ、活動に関わりのあった方々など約60名が報告を聴きました。報告会は、自らの畑での農作業や、地区の行事などに参加した時の様子がスライドで映し出され、境さんがコメントする形で進められました。

境さんは「かねやまは都会で暮らしている人には最高にぜいたくな所だと思いました」と語り、活動を振り返りました。

27名が学舎を後に 川口高校で卒業式

第59回川口高等学校卒業証書授与式が3月1日に開かれました。式では、卒業生1人ひとりの名前が呼ばれ、代表して栗城真優さんに卒業証書が手渡されました。神谷仁校長が「変化の大きな時代に自分を見失わないことが課題であり、人とのふれあいを大切にして、何事にも主体的な態度で取り組んで欲しい」と式辞を述べました。

来賓祝辞、在校生代表送辞に続いて栗城智行さんが「川口高校で築いた友情を大切に、自分に責任を持てる人生を歩んでいきます」と力強く答辞を述べました。



卒業証書を授与される栗城さん

お知らせ

今月の納税

●水道使用料
●保育料
3月分
3月分

納期限

3月31日まで
納め忘れに
ご注意ください

募集

上野原農地の耕作者

現在、上野原農地には、えごま・奥会津金山赤カボチャ・そば・かすみ草・あざき大根などが作付されており、町の特産品になっています。

町では上野原農地の耕作者を募集しています。借地料や借地期間などの詳しいことは次のところにお問い合わせください。

◎問い合わせ：農林観光係
☎5415321

地域づくり総合支援事業

会津地方振興局では、福島県地域づくり総合支援事業を募集しています。

これは、地域の特性を活かした魅力ある地域づくりの推進を目的としています。

補助対象事業

・ハード事業

生活環境や施設の整備
・ソフト事業
人材育成や地域間交流

補助率

対象事業の4分の3以内

募集期間

4月18日(月)まで

◎問い合わせ：政策財政係
☎5415222

案内

かねやまネットテレビ 加入申し込み

町では、かねやまネットテレビとして、光ファイバーを利用し地上デジタル放送の再送信をしています。

3月31日までは、試験放送のため、無料で視聴できますが、4月1日からは、申し込みをしない方は視聴できなくなりますので、まだ申し込みをしない方は早めにお申し込みください。

選挙

福島県議会議員一般選挙

任期満了による福島県議会議員一般選挙が、次の日程で行われます。

なお、アンテナを利用して視聴できる方は、申し込みの必要はありません。

利用料金

月額300円

◎問い合わせ：政策財政係
☎5415222

平成22年金山町 災害・救急統計

- ・火災：2件
- ・救助：2件
- ・その他：6件
- ・救急(金山町内)：182件
- ・救急(金山出張所出動)：175件

※救急出動件数の違いは、金山出張所の救急車が出動中に、金山町内で新たな救急の要請を受け、近隣の三島出張所・昭和出張所が出動したためです。

会津坂下消防署金山出張所

これからの予定

★3月★

▼13日(日)

・スノーシューハイキング
午前8時30分～

かねやまスキー場集合

▼16日(水)

・運転免許更新

午前9時～開発センター

▼23日(水)

・新体育館完成披露会

午前8時45分～金山小

・小学校卒業式

午前9時30分～金山小

午前9時40分～横田小

▼25日(金)

・終了お祝いの会

午前9時～横田保育所

午前11時～川口保育所

★4月★

▼4日(月)

・入所おめでとうの会

午前9時～川口保育所

午前10時～横田保育所

▼6日(水)

・小学校入学式

午前9時～

金山小・横田小

・中学校入学式

午前11時～金山中

▼7日(木)

・行政相談

午前10時～金山町役場

森林環境税の継続

福島県では、平成22年度末までを課税期間として導入した森林環境税を、現行制度のまま平成28年3月末まで継続することにしました。

◎問い合わせ：県庁税務課 ☎024-521-7067

長谷川ノブコさん3姉妹の作品展

長谷川ノブコさん(滝沢)3姉妹による作品展が次のとおり開催されます。丁寧に作り上げられた作品をご覧ください。

▶日時

4月9日(土)～13日(水)
午前9時から午後6時まで

▶場所

ギャラリー平安(丸鈴堂 書道センター2階)
会津若松市花畑東3-26

▶出品作品

絵画・書など約30点

自動車の登録はお済みですか

自動車税は、毎年4月1日現在で運輸支局に登録されている名義上の所有者に課税されます。

納税通知書が間違いなく届くように次のような場合は3月31日までに運輸支局で登録手続きを済ませましょう。

- ・住所が変わった
- ・自動車を人に譲った
- ・廃車した

◎問い合わせ…会津地方振興局県税部

☎0242-29-5261

チャリティーショー

つくし会(西川豊純代表)によるチャリティーショーが次のとおり開催されます。華やかな舞踊をご覧ください。

▶日時

4月10日(日)
午後12時30分開演

▶場所

御神楽館

▶内容

日本舞踊

※和太鼓サークルぼんぼこが賛助出演します。

▶協力金

300円

※協力金は金山町社会福祉協議会へ寄贈されます。

新入学児童・園児の交通安全事故防止運動

▶期間

4月6日(水)から4月12日(火)まで

▶スローガン

あぶないよ 会話にむちゅうの 登下校

新入学期に家庭や学校、地域が一体になり、新入学児童や園児の交通事故を防止するとともに、車内の全座席でのシートベルトとチャイルドシートの正しい着用を徹底しましょう。

金山町交通対策協議会

宮下病院だより

お薬手帳の活用

当院では、お薬をお渡しするときにお薬手帳を作成しています。これには処方された薬の名前、飲む量、回数、注意点などを薬剤師が記入します。かかりつけの病院などがいくつもある場合でも、一つの手帳に書き込みます。痛み止めや胃薬など、複数の病院から二重に飲んでいることも珍しいことはありません。副作用が出た薬や合わないと感じた薬なども薬剤師に記入してもらいます。お薬手帳を活用し、薬の重複や飲み合わせなどをチェックしてもらいましょう。

また、旅行や外出先での事故あるいは災害のときにも、お薬手帳があればスムーズな対応ができます。お薬手帳を上手に活用しましょう。

買って使ってお得な商品券

町は地域経済の活性化などを目的に金山町地域振興券を発行しました。

▶商品券の種類

500円商品券の11枚つづりを一冊として5,000円で販売しています。

▶購入限度額

1人 100,000円

▶利用期間

7月31日(日)まで

◎問い合わせ…金山町商工会

☎54-2311



発行された地域振興券

環境にやさしい 合併処理浄化槽



合併処理浄化槽の場合

生活環境に配慮

現在、町では各家庭から出される生活雑排水をきれいな水に再生・放流し住みよい生活環境づくりのため合併処理浄化槽の整備を進めています。

現在の生活雑排水のほとんどは、池や水路などに流され、水田などの用水として使用されています。

合併処理浄化槽で処理された水は、水質悪化の指標の一つとなるBODの値が10分の1以下となり、汚れが大幅に除去され、未処理のままの水質よりはるかに

きれいな水となり放流されます。

町で整備している合併処理浄化槽は、一般的な合併処理浄化槽よりも処理能力が高いものを設置しています。平成23年度以降も整備を進めますので、設置を希望される方はご連絡ください。

◎問い合わせ…上下水道係

☎ 54-5315

長期不在の場合は ご連絡を

現在、下水道使用料は基本料金と町に住民登録している世帯人数（毎月1日現在）で算出しています。

しかし、住民登録をしたまま就学や入院、老人ホームへの入所などで、町外に在住している方もいます。

これを除外世帯員といい、除外世帯員1人につき下水道使用料を525円減免しています。

該当する場合は、早めにお届けください。

◎問い合わせ…上下水道係

☎ 54-5315



くみ取り式トイレや単独処理浄化槽の場合

BOD（生物化学的酸素要求量）とは？

水中の微生物は酸素を取り込み、有機物を分解して水をきれいにします。BODは、この時に微生物が必要とする酸素の量で、数値が大きいほど水が汚れていることを示しています。

☆ あたらしい本が入りました ☆

一般向け やわらかなレタス

江國 香織 著 (文藝春秋刊)

～食事の幸福がなかったら、人生はどれほど味気なくなるだろう。小説、旅、身近なことを描きとめた随筆集～

一般向け もう迷わない生活

江角 マキコ 著 (集英社)

～著者が失敗しながらたどりついた使用品、自然志向の生活スタイルを紹介するエッセイ集。自宅写真や健康手料理レシピも公開～

一般向け ひとしずくの水

ウォルター・ウィック 作・絵

林田 康一 訳 (あすなろ書房)

～美しい写真と共に水の様々な働きについて学ぶ知恵絵本。肉眼では見えない一瞬をとらえた写真が、身近な水とH₂Oを結びつけます～

◆図書館の利用状況 (2月分)

月刊貸出冊数 79冊
(うち児童書 34冊)

県立図書館の本を紹介します。

- 健康の知恵
農村漁村文化協会 編集 (農文協)
- へこたれない
鎌田 實 著 (PHP出版)

貸し出しは1人3冊まで、貸し出し期間は2週間です。土曜日にも利用できます。

◎問い合わせ 中央公民館

☎ 54-5360

あの人この人

2月届出 (敬称略)

こんにちは赤ちゃん

該当はありませんでした。

お二人で幸せに

該当はありませんでした。

霊よ安らかに

渡 部 ツネ子 (89歳) 田 沢
佐々木 トモ子 (66歳) 小栗山

※このコーナーに掲載を希望されない方は、届け出時に申し出て下さい。

金山町の人口 (3月1日現在)

世帯数	1,140世帯 (±0)
人口	2,565人 (-5)
男	1,207人 (-2)
女	1,358人 (-3)

※()内は先月比 住民基本台帳から

診療所歯科だより



歯がしみる

市川公久 歯科医

虫歯の初期症状として歯がしみるということがありますが、とにかく歯がしみれば虫歯かということ、必ずしもそうとは言えない場合があります。冷たい水がしみる場合は、虫歯の他に知覚過敏ということがあります。

また、ある特定の歯が他の歯よりも噛む力が強くかかっているとか、歯ぎしりがあつたり歯周病があつたりしても歯がしみる場合がありますし、風邪をひいた場合も歯がしみる場合があります。

風邪などの炎症を主症状とした疾患にかかると、歯の中にある血管が拡張するので過敏になり水がしみるのです。

他の歯よりも噛む力が強くかかっている歯や歯周病の部位にある歯、歯ぎしりをしている場合は、歯を支えているあご骨に炎症が起きることで、そこにある歯がしみるようになります。気になる症状がある場合は、診療所を受診しましょう。

◎問い合わせ…金山町国保診療所

☎ 54-2031

母の味を守る

須佐 貞子 さん (山入)

母の味を守る須佐さん

今月は、平成3年に開業した山入山菜加工所で町の特産品の一つ「よっこ漬」の味を守る、須佐貞子さん（山入）にお話を伺いました。

守り続けたい味

「昨年5月にUターンしました。町の大自然が好きなので戻って来ることに抵抗はありませんでした。」

両親が高齢になったことや住んできた家を一生守りたいということもUターンの理由の一つですが、なによりも母の名前が入った商品を絶やしたくないというのが一番です」と須佐さんはその思いを話します。

最初の苦労

「戻ってきて手伝いを始めましたが、初めは山菜の名前を覚えることに苦労したし、加工するときのグラム数や山菜の扱い方を間違えないようにすることも大変でした。」

今は、よっこ漬と呼ばれる代表的な漬け物の他にも何種類か作っています」と須佐さんは当時の苦労を話します。



受け継がれるよっこ漬け

こだわりのもった商品

「母も20年やってきたけど、まだまだ勉強中だと話します。商品の材料となる山菜は家族で採りに行きます。もともと山が好きなので山に行くことも苦にはなりません。」

これからも金山産の山菜にこだわり、食品添加物や保存料を一切使わない体に優しい商品を作り続けたいと思います。そして、販路を少しでも広げて母の味をもっと多くの人に味わってもらえたら嬉しいです」とよっこ漬の味を受け継ぐ決意を須佐さんは笑顔で話してくれました。



生涯学習のマスコット マナビイくん

ステージ発表に大きな拍手 金山町文化協会総合発表会を開催

町内の18団体が加盟する金山町文化協会の総合発表会が3月5日、御神楽館で開かれ約300名が訪れました。

午前10時からの展示の部では、書道や短歌、俳句、水墨画、写真、生け花などが展示され、来場者が各団体の日ごろの研さんの成果を熱心に鑑賞する姿が見られました。

また、会場には茶の湯コーナーも設けられ、大竹沙絢さん（金山小5年・宮崎）がお点前を披露すると、心くばりが随所に散りばめられた一服に、訪れた人たちはほっと心が和んでいるようでした。

正午からのステージ発表では、大正琴を皮切りに日本舞踊や謡曲、昔語り、カラオケと幅広い発表が行われ、発表が終わるたびに会場から大きな拍手が送られていました。



老松を描いた幕の前で発表する金山宝生会



お点前を披露する大竹沙絢さん

皆さんも文化団体に参加して活動し、ご自身の作品を発表してみませんか。

生涯学習
だより

163